

# アンケートによる学生と保護者への 土木に関するイメージ調査 —今後の土木のイメージアップに対する提案—

室蘭開発建設部 技術管理課

○吾田 洋一  
平垣 貴俊  
水尾 隆

近年、若手技術者の減少、建設業の担い手不足が深刻化している。そこで、土木を学ぶ学生とその保護者を対象として、アンケートにより土木に関するイメージ調査を行った。

本調査により、土木に関するイメージとして「わからない」という回答が多かった。しかし、依然として「3K」、「男ばかりの職場」、「休日が少ない」といったイメージがある一方、仕事に対するやりがいがある」、「社会への貢献度が高い」といったイメージを持っていることがわかった。

今後は、現場見学会や意見交換会、女性にも働きやすい職場環境の整備に取り組むことにより、学生、保護者に土木のイメージアップや土木への興味及び、理解を深めてもらうことが必要である。

キーワード：人材育成、地域交流・連携

## 1. はじめに

近年、現場の担い手不足や若年入職者の減少が背景となり、現在及び将来にわたるインフラの品質確保とその担い手の中長期的な育成・確保を目的として、公共工事の品質確保の促進に関する法律が、平成26年6月に一部改正された。

建設就業者数の推移を図-1に示す。全国では平成26年503万人で、ピーク時（平成9年）から約27%減、北海道では平成26年23万人で、ピーク時（平成7年～平成9年）から約34%減となっている。また、建設就業者年齢構成の推移を図-2によると、55歳以上の高齢層、29歳以下の若年層が占める割合の変動は、全国と北海道で同じ傾向を示しているが、北海道では、近年全国より高齢化傾向が強いことがわかる。

地域によっては、災害対応を含む維持管理を担う建設業者や技術者が減少することにより、技術力の低下や国民への安全・安心に支障が生じるおそれがあることが懸念されている。日高・胆振地区においても、担い手不足や若年者の入職不足は大きな問題であり深刻化している。

また、北海道開発局では新規採用を数年行っていないため、技術力の維持や伝承について課題が生じている。

本論文では、土木に関するアンケート調査を行い、担い手不足や若年入職者減少の歯止めと今後の土木のイメージアップについて紹介するものである。

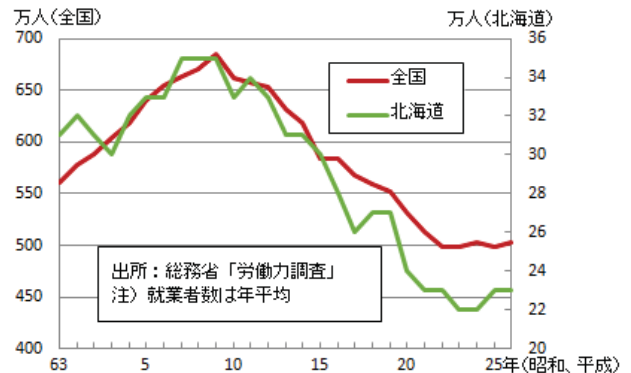


図-1 全国と北海道の建設就業者数の推移

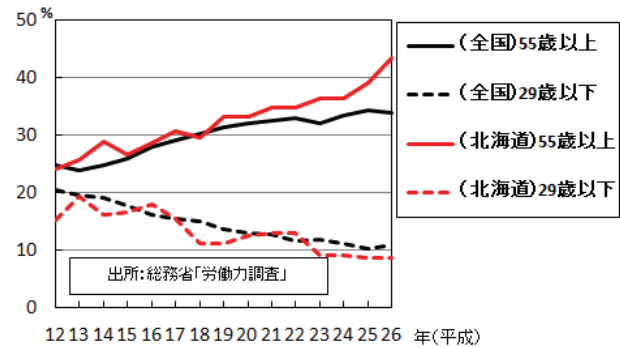


図-2 全国と北海道の建設就業者年齢構成推移

## 2. 調査方法（別紙-1）

調査は土木を学んで2年目の学生とその保護者を対象とし、学生は直轄工事の現場見学会の際にアンケートを行った。アンケートの内容は

- ①土木へのイメージ（「土木への仕事」や「やりがい」等）
  - ②土木への就職（「就職したい（して欲しい）」、「就職したくない（して欲しくない）」、「わからない」）
  - ③土木に就職するための要望（「手当」や「休日」等）
  - ④現場見学の希望（「する」、「しない」）
  - ⑤その他（アンケート調査で思ったこと）
- の5つについて学生から37人、保護者から34人の回答を得た。

### 3. アンケートの結果と分析結果

#### (1) アンケート結果

##### ①土木へのイメージについて (図-3)

本アンケートは14項目について1点～5点の5段階で評価した。各項目について、悪いイメージほど点数が低く、良いイメージほど点数が高くなるように点数化した。

10年以上前からいわれている「きつい」「汚い」「危険」といった、いわゆる「3K」が低評価で、現在でも「3K」のイメージを持っていることがわかった。一方、「やりがい」や「社会貢献度」等は評価が高かった。これは学生、保護者ともに傾向は同じであった。しかし、学生は1点と5点が保護者よりも多かった。これは、学生の方が「土木へのイメージ」をはっきり持っていることがいえる。

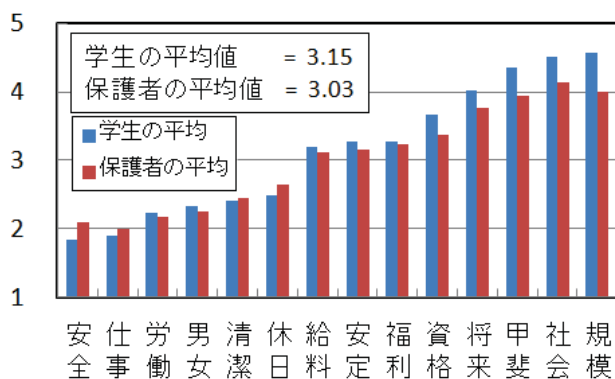


図-3 学生と保護者によるイメージの平均値

また、全項目の平均点は学生で3.15、保護者は3.03であった。その内訳を図-4に示す。学生、保護者ともに3点台ではあるが、学生の約4割が4以上の高い評価をしていることから、良いイメージを持っていると思われる。また、保護者の約4割はどちらでもないという評価であった。

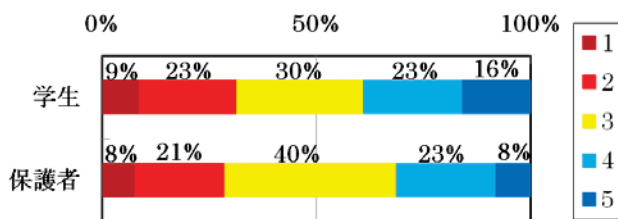


図-4 学生と保護者によるイメージの割合

##### ②土木への就職について (図-5)

学生の57%が「就職したい」、「わからない」であった。一方保護者の38%が「就職して欲しい」、「わからない」であった。学生は、保護者より学校や現場見学会で土木に触れているため、「したい」>「わからない」という結果になっていると思われる。一方保護者は「して欲しい」<「わからない」であった。これは学生より土木に関する職業へのイメージが薄いためと思われる。

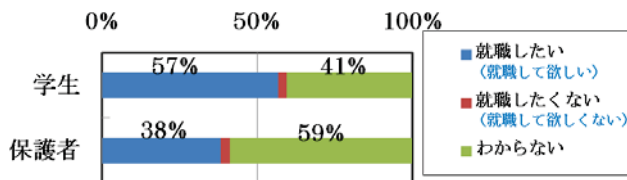


図-5 学生と保護者による就職の割合

##### ③土木に就職するための要望について (図-6)

6項目についてどれか一つを選択する方法で行った。学生は「手当」（給料が多い事を望む）、「残業」（休日が多い事を望む）、「安定職業」がそれぞれ3つに分かれたが、保護者の47%が「安定職業」を選択した。

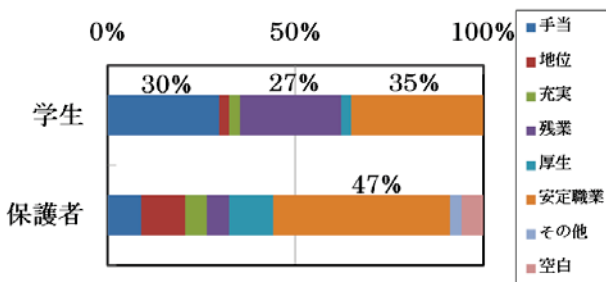


図-6 学生と保護者による望むことの割合

##### ④現場見学の希望について (図-7)

学生の89%、保護者の72%が「希望する」で関心度が高いことがわかった。

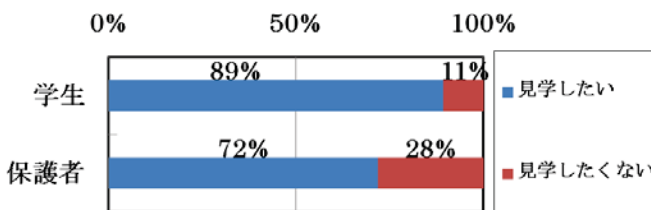


図-7 学生と保護者による見学希望の割合

##### ⑤その他 (このアンケートで思ったこと)

保護者の記述で多かったのは、「土木に関する知識不足、もっと知識を高めた」という土木に関するイメージが薄いことや、「社会に貢献できる分野、やりがいのある大切な仕事」や「もっと知りたい、今後見学をしたい」という前向きな意見があった。

#### (2) 分析結果

##### ①土木へのイメージと土木への就職について (図-8)

土木へのイメージ (14項目) に対し、「土木へ就職し

たい（して欲しい）」又は「就職はわからない」と回答した学生と保護者の意識の差を分析した。その結果、学生と保護者の全体の傾向はほぼ同じであり、また1項目ずつを見ても「就職したい（して欲しい）」と「わからない」は意識に大きな差がなかった。今後の取り組みにより、「わからない」と回答した学生や保護者を土木業界に興味を示してもらうことが必要であると考え。

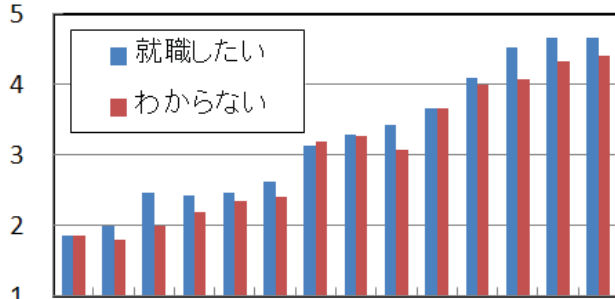


図-8-1 学生の就職別によるイメージの割合

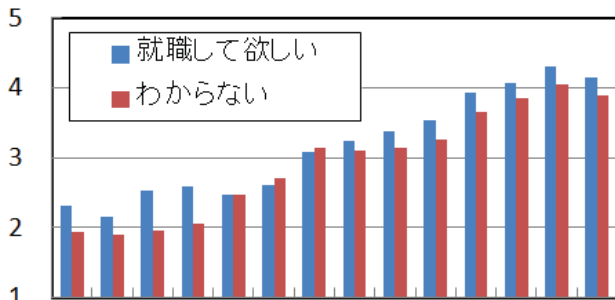


図-8-2 保護者の就職別によるイメージの割合

### ②土木への就職と現場見学の希望について（表-1）

「土木へ就職したい（して欲しい）」又は「わからない」と回答した学生と保護者について、現場見学の希望について分析した。その結果、学生は「土木へ就職したい」のうち100%、「わからない」のうち80%が見学を希望している。一方保護者は「土木へ就職して欲しい」のうち77%、「わからない」のうち72%が見学を希望している。着目したいのは、「わからない」と回答していても見学を希望しており、前向きな意識を持っていると感ぜられる。就職希望者は当然として、「わからない」という中間層を如何に土木の道に目を向いてもらえるのが大きなテーマになることがわかった。

### ③保護者の意識について

子供が土木の学校を選択し学んでいても保護者は土木に関する意識が薄く、土木への就職について「わからない」という回答が多かった。しかし、3Kのイメージを持っていても、社会貢献度が高くやりがいのある仕事だというイメージを持っており、さらに土木を知るために見学を希望している。最近の学生は、地元志向が強く親

の意見が就職先を大きく左右することを聞いている。今後は、保護者を対象としたイベントを企画すべきだと感じた。

表-1 学生と保護者の就職に関する件数

学生	就職したい	就職したくない	わからない
見学したい	21	0	12
見学したくない	0	1	3
計	21	1	15

保護者	就職して欲しい	就職して欲しくない	わからない
見学したい	10	0	13
見学したくない	3	1	5
計	13	1	18

## 4. 結論

土木は「3K」といわれる印象が強い職業である。回答では土木や土木の現場を知らなくても、依然として「3K」のイメージは変わっていない。しかし近年、ハイテクが進み、また女性にも配慮した現場環境が整ってきており、以前とは大きく変わってきている。我々はこのことを広く一般に知ってもらう努力が必要であるといえる。

学生、保護者ともに、土木は男の職場というイメージがあるが、近年女性技術者が増えてきており、女性にも働きやすい職場環境や制度を充実させることにより、さらに女性技術者が増えてくると思われる。

保護者の約6割が土木への就職について、「わからない」と回答しているが、その約7割の保護者は現場見学を希望している。現場の生の声を学生と保護者に聞いてもらう機会を持つことが大切であり、建設業協会や学校と連携して現場見学会や意見交換会、事業説明会等を実施することにより、土木のイメージアップと土木への興味をもってもらい理解を深めてもらうことが必要である。

土木に就職するための要望として多くの学生は「残業が少なく、きちんとした休日」を望んでいるため、休日は確実に休めるような体制作りが必要である。

学生、保護者共に「安定した職業」を望んでおり、今後、予算の適切な確保や施工時期の平準化、年間を通した工事量の安定化をはかり、土木業界が安定した仕事になるような環境作りをすることが重要であるといえる。

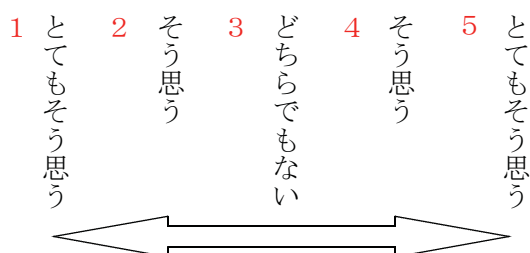
## 5. おわりに

本アンケートを実施することにより、保護者にとって「土木」を考えていただく良いきっかけになったと思われる。今後はこの結果を生かすため、産官学連携し様々な課題解決に向け、具体的な取り組みを実施すべきである。

「土木」に関するアンケート（学生用）  
（保護者用）

別表 - 1

1. 土木について、どんなイメージをお持ちですか？（当てはまる点に○をつけてください）



[仕事 厳しい]	----- ----- ----- -----	[仕事 楽]	仕事
[汚 い]	----- ----- ----- -----	[清 潔]	清潔
[危 険]	----- ----- ----- -----	[安 全]	安全
[肉 体 労 働]	----- ----- ----- -----	[頭 脳 労 働]	労働
[仕事の規模が小さい]	----- ----- ----- -----	[仕事の規模が大きい]	規模
[仕事が不安定]	----- ----- ----- -----	[仕事が安定]	安定
[男 の 職 場]	----- ----- ----- -----	[男女が働ける職場]	男女
[給料が少ない]	----- ----- ----- -----	[給料が多い]	給料
[休 日 が 少 な い]	----- ----- ----- -----	[休 日 が 多 い]	休日
[資格取得の機会が小]	----- ----- ----- -----	[資格取得の機会が大]	資格
[やりがいが無い]	----- ----- ----- -----	[やりがいがある]	甲斐
[将来性が無い]	----- ----- ----- -----	[将来性がある]	将来
[福利厚生が無い]	----- ----- ----- -----	[福利厚生が充実]	福利
[社会の貢献度が低い]	----- ----- ----- -----	[社会の貢献度が高い]	社会

2. 土木への就職について、どう思いますか？（どれか一つに○をつけてください）

お子さんの土木への就職について（どれか一つに○をつけてください）

- ・就職したい
- ・就職したくない
- ・わからない
- ・就職して欲しい
- ・就職して欲しくない
- ・わからない

3. 土木に就職するために望むことは？（どれか一つに○をつけてください）

- ・手当も給料も高い 手当
- ・将来の地位確立 地位
- ・資格取得制度の充実 充実
- ・残業が少なく、きちんとした休日 残業
- ・しっかりとした福利厚生 厚生
- ・安定した職業 安定職業
- ・その他（ ）

4. 土木の現場を見学したいですか？

- ・見学したい
- ・見学したくない

5. このアンケートで思ったことをお書きください

〜
〜

ご協力ありがとうございました

注) ・青字は保護者用。  
・解析は赤字の略称で行った。